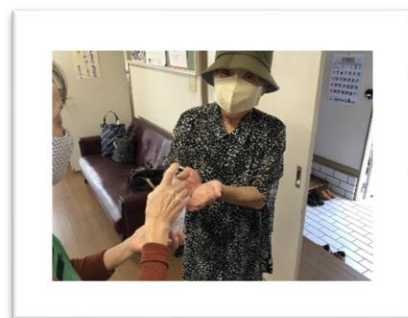


コロナ禍での校(地)区社協活動

ヒント集

八幡西区版



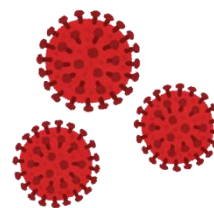
ふれあいネットワーク



社会福祉法人

北九州市社会福祉協議会

コロナ禍での活動、 どんなことができるの？



令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、小地域福祉活動において、止むを得ず見守り活動や連絡調整会議を中止したり、今までの活動の実施方法を見直したりする等、これまでにない事態が続きました。

いまだ、感染の拡大のリスクが存在している状況にありますが、感染拡大の予防と活動の両立を図るため、各校(地)区社協での取り組み事例をまとめたヒント集を作成しました。

また、これまでのように地域に伺えていない職員からもコロナ禍でできることを一言アドバイスとして掲載させていただいています。

引き続き「新しい生活様式」を実践しながら感染拡大防止にご留意いただき、今後の地域活動を実施する際の参考として活用いただければ幸いです。

まずは自分の暮らしを第一に！！

活動者の方もまずは自分や家族の暮らしを第一に、健康管理や感染防止に十分留意しながら、決して無理しないことを原則にしましょう。



事務所長の久留島です

このヒント集はホームページからもダウンロードできます

<https://kitaq-shakyo.or.jp/index.php?id=382#kou-yahatan>

パソコンからは上のアドレス
スマートフォンからは右のQRコードから



《感染拡大を防ぐための「新しい生活様式」の実践例》

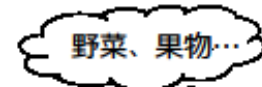
日常生活の中で取り入れていただきたい実践例

あなたと大切な人の命を守るために、日常生活を見直しましょう

会話は **マスク** をつけて
できるだけ
真正面 を避ける



買い物は1人または
少人数 で **すいた時間** に



買い物は
計画をたてて
素早く済ます
通販 も利用



ジョギングは
少人数 で



公園は
すいた時間 **場所** を選ぶ

筋トレやヨガは
自宅 で **動画** を活用



飲食は **持ち帰り** や **出前**
デリバリー も



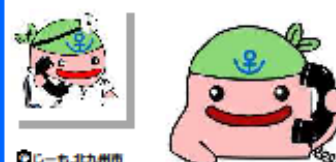
料理は個々に、
横並び で座ろう



仕事は **テレワーク** や
ローテーション
時差通勤 でゆったりと



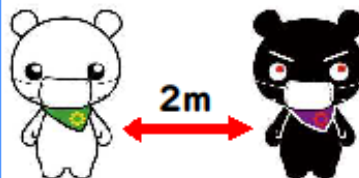
発熱等の際は
かかりつけ医に
お電話 を



発症したときのために
誰とどこで会ったかを
メモ にする



思いやりの距離 を保つ



手洗い、**換気**、**健康管理**
も重要です



北九州市新型コロナウイルス相談ナビダイヤル TEL. 0570-093-567

【出所：北九州市ホームページ】

1 見守り活動

インターフォン越しや窓越し等、距離を取っての訪問

自身の健康チェック

手指の消毒

マスクの着用

ソーシャルディスタンス

【携帯用のアルコールを持ち歩きました】 <鳴水校区>

福祉協力員や民生委員が安心・安全に活動できるように基本事業費で購入しました。



非接触による見守り活動

電話・ポストイングなどで安否確認

ながら見守り（散歩の途中に電気や郵便受けの状況を見て確認）

【ポストイングのちょっとした工夫です】 <中尾校区>

直接の手渡しを控え、ポストイングするも、お宅にいるのか、受け取ってもらえたのか心配・・・

そこで、郵便受けから少し見える状態でポストイングし、再度、近くを通りかかった時に、郵便受けにないことを確認して安否確認をしていました。



【往復はがきを活用しました】〈本城校区〉

「お元気ですか？」のお便りを送って、往復はがきで状況確認をしました。

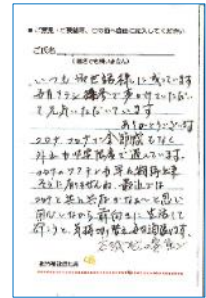
昔ながらの文通でとても良い反響がありました。

返信はがきでは、対面では把握できなかった高齢者の孤独や不安、新たな困りごとなどの本心をきくことができました。

また、福祉協力員への感謝の言葉もそえられており、活動の励みになりました。



▲往復はがきで送付



▲返信はがきでお返事

【ポスティングの回数を減らしました】〈医生丘校区〉

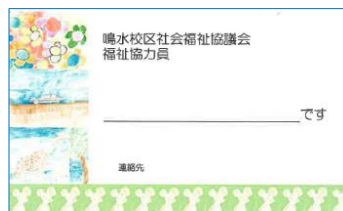
「お元気ですか？」を直接お届けすると、ついつい話がながくなってしまうため、ポスティングに変更し、毎月から2か月に1回に減らして福祉協力員の感染防止に努めました。

ただ、スーパーや公園などの外出先でお会いした時に挨拶を交わすなどし、見守り活動を継続しています。

【名刺とチラシを作成しました】〈鳴水校区〉

「直接お会いできなくても、つながっていますよ」のメッセージを伝えたくて作成しました。障害者施設インクル八千代さんの協力を得て、利用者さんに挿絵を描いていただきました。

名刺は誰にでも渡せるようなシンプルなデザインにして、多くの方に社協活動を知っていただき、一人でも福祉協力員の仲間が増えたらと思っています。



▲名刺



▲チラシ (A4 サイズ)

【アンケートを実施しました】＜若松区高須地区＞

電話での安否確認の際に、外出の頻度や健康状態、不安があるかなどのアンケートを行いました。

アンケートからは、外出頻度が減り、サロンの中止や市民センターが使えず、居場所がないなどの困りごとも見えてきました。

詳細は高須地区のホームページを参照（2020.06.16の記事）

<https://www.kitaa-shakyo.or.jp/wakamatsu/takasu/>



----- お家でできる！見守り活動への備え -----

- ・自分の担当エリアの福祉マップを作成する
- ・基本台帳の作成・見直しをする

コロナ禍のピンチをチャンスに！

これまでの地域の“つながり”を絶やさないために共に考えながら地域活動のお手伝いができると思っています。いつでも気軽にお声かけください。

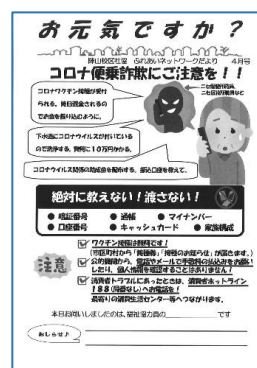
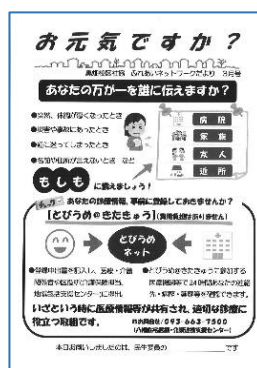
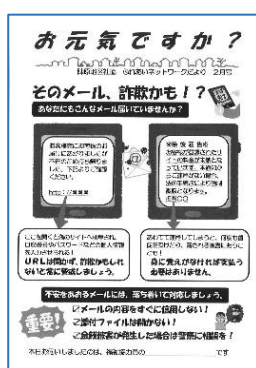


地域支援コーディネーター
南部担当の竹之内です

----- 「お元気ですか？」で訪問活動 -----

八幡西区社協では、福祉協力員さんや民生委員さんが見守り訪問時に福祉に関する情報を気軽にお届けできるよう、毎月「お元気ですか？」を発行しています。平成20年から発行を開始し、現在、25校(地)区社協にご利用いただいています。

コロナ禍では対面での訪問が難しく、ポスティングできる「お元気ですか？」が大活躍しました。



「お元気ですか？」をきっかけに見守る方・見守られる方、お互いの気持ちが通い合うような紙面づくりにしたいと思っています。皆さまが話題にしたい記事、テーマ等ありましたらぜひご相談ください。コロナが収束し、遠慮なく手渡して頂ける日を私も待ち望んでいます。



広報担当の竹田です

2 話し合い活動

市民センターでの感染症対策を参考にしましょう

- 人と人との距離をできるだけ2メートル、最低1メートルを確保してください。机を使用する場合は、対面での会話や飲食をしない配席をお願いします。
- マスク等の着用をお願いします。
- 手洗いや手指の消毒の徹底をお願いします。
- 発熱や、軽度であっても咳・咽頭痛などの症状のある方は入館をお控えください。
- 万一患者が発生した場合の連絡対応のため、参加者の連絡先の把握をお願いします。
- 部屋を使用するときは、30分に1回（数分程度）の換気をお願いします。
- 利用後は、テーブルやいすの消毒をお願いします。

【出所：北九州市ホームページ「新型コロナウイルス感染症対策に伴う市民センターの開館について」から一部抜粋】

【こういう時こそ“つながり”が必要】〈上津役校区〉

活動者からこのような声が多く上がり、大人数になる校区の作戦会議を中止ではなく社協関係者に絞った会議に切り替えて続行しました。

市民センターでの感染対策に加え、下記の事を実施しました。

- ・参加者を会議室定員の30%以下を目安とし20名に絞る
- ・マイクも持つ人が変わるたびにアルコール除菌

各自治区の見守り状況の把握や現在の困りごとの把握ができるとともに、区社協職員や八幡在宅医療介護連携支援センターからの適切なアドバイスもあり、自身の感染対応策の参考にもなりました。



【体育館で開催しました】〈医生丘校区〉

約 70 名集まる出席者を班長のみの 20 名程度に抑えて行っていますが、全体会議は小学校の体育館をお借りしました。

空調がなく少し暑い中でしたが、換気する窓の外から、夜風と虫の声を感じての開催でした。



【フェイスシールドと USB を活用しました】〈折尾西校区〉

司会や報告を行う役員は、フェイスシールドをつけて飛沫感染防止の対策を講じました。フェイスシールドまでは大げさかなと思いましたが、高齢者が多く集まる会議のため、念には念を入れました。

机は、通常は「口の字」で囲んでいましたが、机を取り外し、椅子のみで開催しています。

会議資料は集まって作成するのが難しかったので、各班長が報告事項をワードデータで作成し、USB に保存して市民センターの社協ボックスに事前提出してもらいました。当日は共有したい事項のみを簡潔に話してもらい時間短縮につとめました。



【LINE を活用しました】〈折尾西校区〉

役員（会長、事務局長、事務局次長、ふれあい担当 2 名）の 5 名でライングループを作って情報交換を行っています。

ラインを使っていなかった会長は、3 日間の無料ライン講座を受講してマスターしました。

最初は日程調整などの文章だけのやり取りでしたが、今は画像や動画を送ったり、オンライン会議もできるようになりました。

なかなか会えない遠方に住んでいる孫ともラインをするようになり、楽しく活用しています！



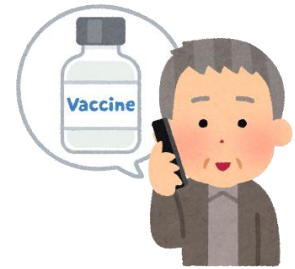
3 助け合い活動

【ワクチン接種予約のお手伝いをしました】

＜陣原地区・上津役校区＞

ワクチン接種予約の状況確認をするため、福祉協力員や民生委員が見守り対象者全員の予約状況を確認し、本人や家族などの同意のもと、予約ができていない方の予約取り付けのお手伝いをしました。

コールセンターやインターネットに不慣れでコロナに不安を抱える高齢者にとってとても喜ばれ、予約が取れた時は安心されていました。



----- コロナで不安を抱えている方にちょっとした声かけを -----

声かけのコミュニケーションとして、傾聴（けいちょう）があります。傾聴とは話を聞くだけでなく、相手を尊重し理解することです。相手と違うことを思っていたとしても自身の気持ちは押し付けず、まずは相手に共感し、気持ちを聞きましょう。相手が発言した気持ち（辛い、怖い、不安など）があれば、「それは辛いですね。」など繰り返し言うと、相手を理解しようとする姿勢が伝わります。また、相手の話すテンポに合わせて相槌を打つことも傾聴の一つです。

不安を抱えている方にとって、気持ちに寄り添い、理解してくれる人がいるだけでとても心強く感じられると思います。皆さんからの声かけを心待ちにしている方がたくさんいらっしゃると思います。ぜひ参考にしてください。



民生委員児童委員協議会
事務局の豊永です

----- ボランティア団体ともつながりましょう -----

地域活動者だけでは助け合い活動は難しくなっています。特技や趣味を活かして集まったボランティアグループや団体と連携して、校区・地区を超えた助け合い活動の輪を広げていきましょう。

ボランティア団体と皆さまとの架け橋になり、一緒に楽しみを味わいたいと思います。ぜひお声をおかけください。お待ちしております。



ボランティアコーディネーター
の乙藤です

4 サロン活動

- 市民センターでの感染症対策（P6参考）や参加者でルールを決めて楽しく実施しましょう

<p>1 </p> <p>感染予防のため様々な制約がありますが、そのような中でも、参加されている皆さんと一緒に楽しい時間を過ごしましょう。</p> <p>何より、楽しく行いましょう</p>	<p>2 </p> <p>熱中症予防のため、室温にも配慮しながら、定期的な換気を行ってください。</p> <p>換気をしましょう（1時間に2回以上）</p>	<p>3 </p> <p>隣同士で手を広げた間隔が約1mです。これ以上は間隔をあけるようにしてください。向かい合った運動は避けてください。</p> <p>距離をあけましょう（なるべく2m、最低1m）</p>
<p>4 </p> <p>人数が多いには、グループに分かれ分散して開催してください。場合によっては、時間短縮なども検討してください。</p> <p>人数が多い場合は時間帯を分けて開催しましょう</p>	<p>通いの場 開催の⑧の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 感染予防を行いながら、新たな活動様式を推進しましょう。 ・ ここには一般的なルールを記載しています。各グループで話し合っ、皆さんのルールも決めておいてください。 ・ お休みされている方やご近所の方には、お電話やメールなどで連絡を取り合うなど、声掛け運動をよろしくお願いします。 	
<p>6 </p> <p>ただし、マスクを装着したままの運動は通常よりも体に負荷がかかります。屋外や十分な距離を空けている場合には、熱中症対策も考慮して適宜はすすようにしてください。</p> <p>マスクをしましょう</p>	<p>7 </p> <p>熱中症予防のため水分補給はこまめに行ってください。</p> <p>食事はなるべく控えましょう</p>	<p>8 </p> <p>参加される日だけでなく、日頃の体温や体調の確認を行い、記録しておくようにしてください。体調がすぐれない日はお休みするようにしてください。</p> <p>健康管理を行いましょう</p>

発行：国立長寿医療研究センター 理事長 荒井秀典、筑波大学 教授 山田 実

【受付を設けました】

〈たくさんの校(地)区〉

会場に入る前に、体温測定、手指消毒、名簿の作成などを実施しました。

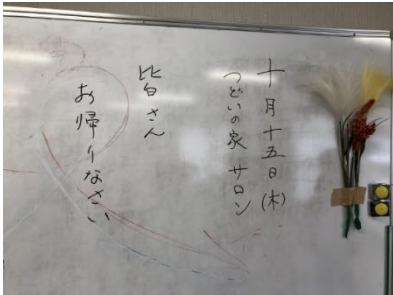


【ソーシャルディスタンスを
保ちました】
〈たくさんの校(地)区〉



【広い会場で開催しました】〈本城校区〉

ソーシャルディスタンスがしっかりとれるかを検証しながら開催しています。距離を保った空間にはクリスマスの飾りなど、季節に合わせた飾りつけをしたりして、和んでいただきました。



【2部制で開催しました】〈鳴水校区〉

午前と午後に分けて、人数制限、消毒、換気、サーキュレーターも使用して徹底して行いました。ゆったりとした気持ちで不安なく参加してもらえたと思います。



【アクリル板を設置しました】〈浅川校区・穴生地区〉



◀ 浅川校区

テーブルの両端に支柱を立てラッピングシート（高さ90cm）を張って正面の人との間仕切りとし、横の人との間にもスクリーン（高さ65cm、幅70cm）を張って間仕切りとして飛沫防止を図れるようにしました。

穴生地区 ▶

土台が取り外せる組み立て式のため、収納場所もそんなに必要ありません。透明の為、誤ってぶつからないよう、端っこに色つきのテープを貼って、分かりやすくしました。



【屋外サロンに変更しました】＜陣山校区・上津役校区＞



◀ 陣山校区

事前に各人が時間をずらして公園に来園するよう時間調整をしておきました。

来園されたら「くじ引き」をひいて当たった景品とお弁当を持って帰っていただきました。

みなさんの安否確認や情報提供もでき、なかには久しぶりにお会いした方々同士で、話がはずむなどの場面もありましたが、感染防止の観点から時間短縮で切り上げていただきました。

スタッフは机やいす、シートなどの用意や片付けが少し大変でしたが、公園という開放感のある場所で、いつもの方々と会うことができ、短時間でも皆さん喜ばれました。

上津役校区 ▶

ラジオ体操やリンパマッサージのお話を聞きました。屋外で参加者が広範囲に広がることと周囲の騒音で音楽や先生の声が通りにくかったですが、皆さんに大好評でしたので、今後、工夫していきたいと思います。



また、北九州市発行の「北九州の魅力再発見パスポート」を利用して、小倉城ハイク、門司港レトロハイクを行いました。感染予防対策として、事前にアルコール入りティッシュを配付し、各自で手すりなどの消毒をこまめに行い、換気のよい場所を選ぶなどしました。



＜門司区門司校区＞

公園でのウォーキングの後に、園内の清掃活動を行いました。

【おしゃべりは我慢！① 鑑賞型のサロンに変更しました】
＜陣原地区・永犬丸西校区＞

陣原地区 ▶

集会所のステージなどを活用しました。目で笑って大きな拍手、生の演奏で心癒されるひとときでした。演者の方も活動の場が少なくなっているため、演者から次のサロンの演者を紹介してもらうなど、つながりが広がりました。

7月：ギター&ハーモニカ演奏、日本舞踊

8月：落語&マジックショー

9月：太鼓&日舞の競演

12月：フラダンス&マジックショー

5月：ピアノ&フルート演奏



◀ 永犬丸西校区

映写会を実施しました。若戸大橋が出来た翌年に地方ロケされた「社長漫遊記」。

懐かしい風景とともに、大きなスクリーンで皆さんに楽しんでいただきました。

【おしゃべりは我慢！② 学び型のサロンに変更しました】
＜筒井校区・上津役校区＞

▶ 筒井校区

免疫力が高まるようにと、発酵食品の講座を開催しました。

▶ 上津役校区

八幡在宅医療介護連携支援センターから講師を招き、コロナ禍における医療介護連携システムの必要性を学びました。

一人暮らしの方々は、家に閉じこもると不活性化による体調不良が発生するので、「集まりつながること」が必要だと実感しました。感染対策を万全にして継続したいと思います。

【おしゃべりは我慢！③ 体操サロンに変更しました】

＜星ヶ丘校区＞

イベントや茶話会を取りやめ健康体操のサロンとし、時間短縮、人数制限も行いました。

心待ちにしてくださった方のよい交流・情報交換の場となりました。茶話会がなくなり体操が中心だったこともあり、男性の方も最後まで活動をしていただけました。

また、イベントをやめた分、活動者の準備の負担が減り、開催時間を短縮した分、活動者の情報交換や連絡の時間が十分にとれ、ここで得た情報を素早く年長者に還元することもできました。



【おしゃべりは我慢！④ 手作りサロンに変更しました】

＜永犬丸西校区＞

お持ち帰りいただけるブローチを作成しました。



【飲み物を持参してもらいました】＜医生丘校区＞

ペットボトルや水筒持参で、マスクを外すときはおしゃべりを控えることをルール化しました。



【椅子から離れる時は名札を置いてもらいました】

＜中尾校区＞

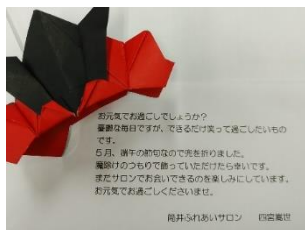
一人1脚の椅子を準備していますが、サロン終了時まで他の人が間違っても座らないよう、椅子から離れる時は首からぶら下げている名札を椅子に置いて離れることをルール化しました。

途中で消毒することなく、最後に自分の使用した椅子を消毒するだけなのでラクチン、よかったです。



【サロンの代わりにお手紙や脳トレドリルを配付しました】

＜筒井校区・熊西校区＞



お元気でお過ごしでしょうか？
 季節は毎日ですが、できるのが減って過ごしたいもの
 です。
 5月、満月の節句仮面でお花を折りました。
 暑さのつもりで飾っていただけから幸いです。
 手紙がロクでお高いのを楽しみしています。
 お元気でお過ごしください。

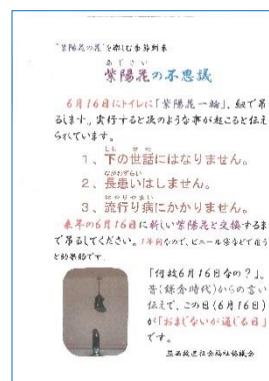
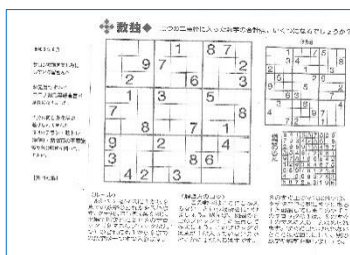
筒井-SRあひサロン 四宮優里

◀ 筒井校区

市民センターが閉館の間は季節の折り紙とお手紙を配付しました。年末には指定ゴミ袋をお届けしました。

▶ 熊西校区

見守りの時やまちかどですれ違った時に共通の話題ができるように、脳トレドリル（数独など）や季節のトピックスを配付しました。



【サロンだよりを発行しました】

＜小倉北区中井校区＞

フレイル予防や熱中症予防、「詐欺やヒートショックに注意」などの旬な話題や、在宅でできる脳トレを記載しました。



----- 少しずつ、できるところから社会参加の場づくりを -----

コロナ禍による外出自粛で活動の機会が減少したことにより、高齢者の体力や認知機能の低下、子どもや障害のある人への虐待など「二次被害」が起きていることが伝えられています。

サロンは仲間づくりの場、健康づくりの場だけでなく、気軽に困りごとを相談できる場でもあります。誰もが気軽に集え、支える・支えられるの垣根をこえたつながりをつくっていきましょう。

サロンとは、参加者全員でつくりあげていくもの。
 皆さんで意見を出し合い、世界に一つだけのサロンをつくりましょう。



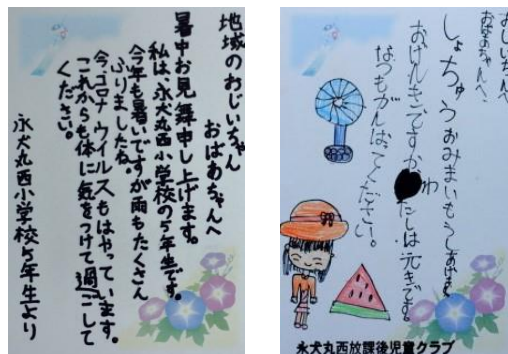
地域支援コーディネーター
 中部担当の白石です

5 ウェルクラブ活動

【高齢者にお手紙を送りました】〈永犬丸西校区〉

社協が運営する学童の子ども達に暑中見舞いを書いてもらいました。

子ども達にとって短い夏休み、家族旅行や夏の行事もできない中、季節を感じるはがきを書いてくれました。子どもにも高齢者にもいつもとは違う夏の思い出になってくれたと思います。



〈若松区小石・赤崎校区〉

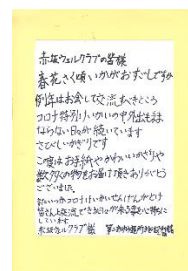
往復はがきに書いて、高齢者からもお返事を書いてもらうようにしました。

【施設の利用者に手作りの作品を贈りました】〈赤坂地区〉

子ども達が壁掛けを作り、高齢者施設と障害者施設（宗寿苑、サポートセンター本城、北九州第二あゆみ通所施設）に贈呈しました。

後日、施設の利用者さんからお礼のお手紙が届きました。

直接の交流はできなかつたり、人数が制限された中でも、つながりが途切れないよう、継続しつづけることは大事だと思っています。コロナが収束した際は、また以前のようにたくさん子ども達と交流しましょうと施設の職員さんも話してくださっています。



【アクリル板をかわいく彩りました】<永犬丸西校区>

八幡西区役所と区社協の窓口に設置されているアクリル板に子ども達
が書いた絵をラミネートして貼っていただきました。窓口に訪れた方に
喜んでいただいています。

サロンなどのアクリル板にも季節の折り紙や子ども達の絵が飾られて
いるときっと笑顔になることと思います。



【勉強会を開催しました】<八幡東区中央第一地区>

視覚に障害のある人が普段どんなことで困
っているのか、困っているときにどのようにサ
ポートできるのかなどのお話を聞きました。

また、盲導犬ユーザーから補助犬のしごとや
周囲の人が協力できることなどを教わりまし
た。



----- いまこそ、子ども達に福祉教育を -----

クラブ員募集もままならない状況の中、今までとは違った形にはなり
ましたが、子ども達と地域の高齢者や障害者施設との“つながり”を持
つことができました。

このような状況だからこそ、誰かとつながることの大
切さを肌で感じることもできたのではと思っています。

ひとりではできないことでも、みんなが力を合わせれ
ば大きな力になる・・・“きずな”

子ども達の福祉の心を育むウェルクラブ活動を校
(地)区社協で取り組んでみませんか。私たち地域支援コ
ーディネーターがお手伝いさせていただきます。



地域支援コーディネーター
北部担当の古田です

6 地域交流活動、記念行事

【屋外でぬりえ作品展を開催しました】＜中尾校区＞

100均で購入した色鉛筆とぬりえを配付しました。その後、「お元気ですか？」の配付時に出来上がった作品を預かり、準備を福祉協力員で行いました。コルク板で作品ボードを作り、作品には台紙をつけ、屋外展示と感染対策のため、厚手のビニールカバーをつけました。

3月に市民センターの屋外に展示し、多くの方に見ていただきました。ぬりえの好きな方は何枚も出され、苦手な方も「塗って見たら楽しかった」と大変喜ばれました。はがきサイズだったので、はがきにして使われた方もいらっしゃいました。

他の方の作品を見て同じ絵柄でも色のトーンの違いなど気づかれて話が盛り上がっていました。また展示会をしてほしいと大好評でした。



【子ども達とゲーム感覚で開催しました】＜黒畑校区＞

3密に注意して、高齢者11名と子ども11名を5班に分けて、カップ寿司、鶏団子汁、アメリカンドッグを調理しました。

調理室の窓は全開し、会話を控え、子ども達を高齢者がサポートするというゲーム感覚で、和気あいあいの世代間交流が出来ました。

料理は広い多目的ホールでいただきました。ソーシャルディスタンスを保ちましたが、ココロはグッと近づいた一日でした。

外出や遊び、おしゃべりが規制される中、年長者と子ども達が協働作業で料理を作る姿は生き生きとして楽しそうでした。やっぱり地域の交流は最高ですね。



【記念品を贈りました】〈青山校区・塔野校区〉

▶ 青山校区

毎年、お月見会やミニキャンプを開催しています。これまで参加していた子ども、特に最後の小学校生活、さまざまな行事が中止になってしまった6年生に、何か記念になるものを贈ろうとなり、メッセージと記念品としてシャーペンを贈りました。



「中学生になるとシャーペンは学校でも使うので嬉しいです」とお礼の声を多くいただきました。

また、一人暮らしの年長者懇親会も中止となったため、代わりにメッセージと記念品（マスクと一般の指定ゴミ袋）をポストインしました。

当時はマスクが手に入りづらく、ゴミ袋も日常使うものなので喜ばれました。役員が集まり、200セット以上を作成するのは大変でしたが、再開できる日を願いながら心をこめてポストインしました。

▶ 塔野校区

25周年記念式典を行う予定でしたが、中止となってしまいました。

そこで、理事会で検討し、校区内にある障害者福祉施設「桑の実工房」の所員さんが作成した藍染の手提げ袋と布きんの詰め合わせ、コロナ対策用品をセットにして、日頃より塔野社協を支えて下さっている福祉協力員と関係者の皆様に感謝の意を込めてお渡しすることができました。

桑の実工房の所員の方が心を込めて作成してくれた品を大切に使いながらこれからも活動に尽力したいとの声をいただくことができました。

【「いまの思い川柳」を募集しました】〈則松校区〉

連絡調整会議の参加者などに川柳を募集したところ、たくさんの『思い』が届きました。

日頃の会話では知りえないような思いが込められていたり、「実は川柳が趣味だったんです。」といった一面も知ることができ、大好評でした。

- ・ 冬花火 心のワクチン もらったよ
- ・ さりげない 親切受けて こちよし 繋ぐよ気持ち 見知らぬ他人へ

【オンラインで開催しました】<小倉北区日明校区>

敬老会会場の市民センターと小学校を zoom で結び、高齢者と小学生が交流をしました。多目的ホールのスクリーンいっぱい子どもたちの姿が映し出され楽しいひとときを過ごしました。



※zoom（ズーム）とは？

パソコンやスマートフォンを使って、セミナーやミーティングをオンラインで開催するために開発されたアプリです。

お揃いのポロシャツ&ジャンバーで団結力アップ！

お申し込みは八幡西区社会福祉協議会まで

ポロシャツ



このヒント集で職員も着用しています！



ジャンバー



ポロシャツ ¥2,200 ジャンバー ¥3,900（税込）

7 福祉の救援体制づくり

【緊急連絡マグネットを作成しました】〈竹末・若葉地区〉

緊急時に連絡がとれるよう、マグネット式の緊急連絡シートを民生委員と連携して作成しました。

担当民生委員名を記載したり、緊急時の連絡先を記載することで、直接、話ができなくても対応できるように工夫しました。

65歳以上の一人暮らしと75歳以上の昼間のみ一人暮らしの方、計440枚を配付しました。

作成しても活用していただければ意味がないからと、どのお宅でもすぐに対応できるよう、貼り付ける場所や記載内容を一緒に考えたりして統一した基準を考えているところです。

緊急時の連絡先	
私の名前	血液型 _____ 型
電話 (_____)	
家族の連絡先 1	
氏名 _____ (続柄)	
電話 (_____)	
家族の連絡先 2	
氏名 _____ (続柄)	
電話 (_____)	
かかりつけ医院	
電話 (_____)	
民生委員の連絡先	
氏名 _____	
電話 (_____)	
警察は110番 消防・救急車は119番 竹末若葉地区社協/民児協	

【少人数で捜索訓練や講座を開催しました】〈楠橋校区〉

毎年120～130人の参加で、高齢者行方不明捜索模擬訓練をしていましたが、今回は少人数の電話連絡のみで行いました。

まち協会長→自治区会長→町内会長→組長まで連絡をし、時間をおいて「発見された」の連絡を組長→町内会長→自治区会長→まち協会長まで戻す訓練を行いました。

認知症予防講座は、コロナ禍における影響やワクチンの効用などの内容も盛り込んでいただきました。人数を制限したこともあって体もゆったり動かしていただきました。

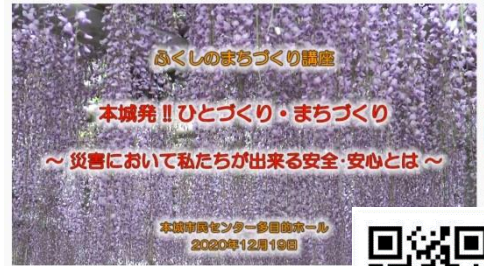
また、緊急の際、いつでも社協の活動者と分かっていただけできるよう、お揃いのジャンバーを作成しました。



【YouTube を活用しました】 <本城校区>

自然災害や防災をテーマにした、ふくしのまちづくり講座を開催しました。自然災害は子どもから高齢者まで誰にでも危険が伴うため、多くの方に見ていただけるよう、講演内容を YouTube で配信しました。

<https://youtu.be/1ZgoJS3jSBk>



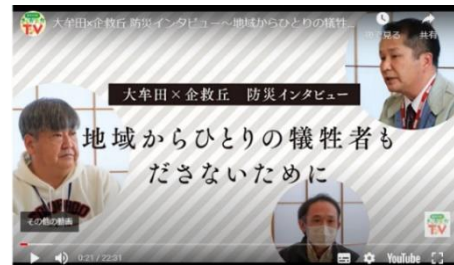
<小倉南区企救丘校区>

防災研修として「大牟田×企救丘防災インタビュー～地域からひとりの犠牲者も出さないために～」を YouTube で配信しました。

インターネット環境がない方へは DVD を配布し、パソコンやテレビでいつでも研修を受けることができる環境を整えました。

・まちの駅 きくがおか TV

https://www.youtube.com/channel/UCQzPZR8lnKkYbFFW_ilyFcw



※YouTube とは？

音声付きの動画を自由に投稿・閲覧することができる、インターネット上の動画共有サービスです。

----- 3密と災害を同時に防ぐために -----

- ・危険な場所にいる人が避難することが原則です。
- ・安全な場所にいる人まで避難所に行く必要はありません。
- ・避難先は市民センター等だけではありません。安全な親戚や知人宅に避難することも考えましょう。

以上を実践するために、ハザードマップで自宅の災害リスクを把握しておきましょう。

皆様、いつも地域のためにありがとうございます。今回はコロナ禍での避難の考え方をご紹介します。



いのちをつなぐネットワーク
担当係長の下山です
(消防局からきています)

----- ICTの活用に挑戦してみましよう！ -----

ICTとは「Information and Communication Technology」（インフォメーション・アンド・コミュニケーション・テクノロジー）の略で、「情報通信技術」という意味です。身近な例で簡単に説明すると、SNS上でのやり取りやメール等、インターネットを利用して人同士のコミュニケーションを手助けする事もICTの活用事例に該当します。

コロナ禍で社会福祉施設との連携がしづらくなっていますが、一方でオンラインにいち早く対応しているので、コロナをきっかけにみんなでICTの活用について勉強してみませんか！？



穴生学舎では、年長者向けの講座を開催します。興味のある方はぜひご参加ください。

- ・ zoom入門・・・10～11月【全4回講座】
- ・ LINE入門・・・12～1月【全6回講座】

【問い合わせ先】穴生学舎 TEL：645-6688

----- 「あんしん情報セット」利用しませんか -----

八幡西区ささえあいネットワーク推進協議会高齢者支援部会では、「あんしん情報セット」をお配りしています。これは、高齢者の医療情報や緊急時の連絡先など、もしもの時に役立つ情報を自宅の冷蔵庫に保管しておき、緊急時に救急隊員などが必要に応じて活用するものです。

コロナ禍のいま、情報を共有する機会も失われています。安心のために、おうちの冷蔵庫にひとつ、置いてみませんか。



筒の中身は



緊急連絡先が書ける用紙や
冷蔵庫に貼るマグネットなどが
入っています！

【問い合わせ先】

八幡西区ささえあいネットワーク推進協議会高齢者支援部会事務局
(八幡西区役所保健福祉課いのちをつなぐネットワーク係内)

TEL：642-1334

8 年末年始ふれあい活動

【お赤飯を届けました】〈陣山校区〉

恒例のふれあい餅つき大会が出来ないため、一人暮らし年長者へ「手づくり赤飯」を届けることになりました。

市民センターの調理室において、前日午後から3名で小豆を焚き、もち米を洗っておきました。

当日、朝から女性8名で赤飯を作り、男性5名が講堂で町会別に仕分けをしておき、昼頃、各町会長が受け取りに来て町会の福祉協力員と協力して届けました。

みんなの連携が功を奏し、対象者の方に温かい赤飯が届いたので大変喜ばれました。陣山校区は日頃から地域の協力体制は良好ですが、改めて町会長の方々に感謝です。



【ぜんざい、年越しそばを届けました】〈星ヶ丘校区〉

ふれあい訪問を行いながら、「レトルトぜんざい」「年越しそば」「マスク」をプレゼントしました。

いつも心待ちにされている「お餅」ではありませんでしたが、例年通り年末訪問を実施し、情報交換の場を持つことが出来ました。

お餅は柔らかさが求められたので、午前中に餅つきを行い、午後すぐに配達をしていました。体力的にも大変でしたが、内容を変更したのでその分の負担は軽減されました。



----- 賛助会費と赤い羽根共同募金 -----

ふれあいネットワーク活動は、地域の皆さまからいただく賛助会費と赤い羽根共同募金の配分金などの浄財を主な財源としています。

令和2年度の賛助会費は、コロナ禍ではありましたが、前年を上回るご加入をいただきました。直接活動ができなくても、お金でできる支援活動として、これからも地域の支え合いの輪を広げていきたいと思ひます。

いのちをつなぐネットワーク担当係長と地域支援コーディネーター

行政の「いのちをつなぐネットワーク担当係長」と社協の「地域支援コーディネーター」は、地域包括支援センターの区分にあわせて担当職員を配置しています。

いのちをつなぐネットワーク担当係長は、地域福祉の充実強化を図り、支援が必要と思われる方の相談を受けたときには必要なサービス・支援につなぐ役割を、地域支援コーディネーターは地域の特性や地域が抱える課題を把握し、解決するためのサービスや担い手の発掘、コーディネートを行っています。行政と社協が両輪となって、皆さまの地域福祉の活性化を目指します。

[北部：古田 地域支援コーディネーター]

永犬丸、永犬丸西、八枝、浅川、光貞、折尾東、折尾西、則松、医生丘、本城、赤坂

[中部：白石 地域支援コーディネーター]

陣山、黒崎、鳴水、黒畑、熊西、筒井、青山、穴生、引野、竹末・若葉、陣原

[南部：竹之内 地域支援コーディネーター]

上津役、大原、八児、中尾、塔野、池田、千代、香月、楠橋、木屋瀬、星ヶ丘

いのちをつなぐネットワーク担当係長



[北部]堤 担当係長



[中部]園 担当係長



[南部]下山 担当係長

社協活動の頼れる
パートナー!

◆ さいごに

ウィズコロナの生活もそろそろ1年半になろうとしています。こんなにつづくとは正直思っていませんでした。

コロナ禍の影響で、困りごとを抱える住民が増えていると実感しています。

校(地)区社協の活動も中止や延期が相次ぎ、私たち区社協職員も皆さんと直接お会いする機会が減り、校(地)区社協の組織の弱体化をひそかに心配していました。

しかしながら、地域ではつながりが途切れないよう、創意工夫したアイデアや新しいしくみで活動を継続しており、改めて地域力のすごさを実感しました。

短い期間にも関わらず活動事例をご提出いただきました校(地)区社協の皆さまに改めて感謝申し上げます。

また、会場規模などにより地域住民の健康を優先して再開の時期を検討している校(地)区社協の皆さまも、感染状況が落ち着きましたらぜひこのヒント集を参考にしてください。

活動の再開、皆さまとの再会を職員一同、楽しみにしています!



ふれあいネットワーク活動
担当の藤永です



みんなが安心して暮らせる
支え合いのまちづくり

ふれあいネットワーク
社会福祉法人
北九州市社会福祉協議会
<https://www.kitag-shakyo.or.jp>

〒804-0067
北九州市戸畑区
汐井町1番6号



北九州市社協

北九州市社会福祉協議会

●地域福祉部

地域支援課 TEL882-4425 FAX873-1351

各区事務所（区社会福祉協議会）

●門司区事務所（門司区社会福祉協議会）	TEL331-3688	FAX331-5994
ボランティア・市民活動センター	TEL322-2966	FAX331-5994
●小倉北区事務所（小倉北区社会福祉協議会）	TEL571-5452	FAX571-9553
ボランティア・市民活動センター	TEL562-2051	FAX562-2051
●小倉南区事務所（小倉南区社会福祉協議会）	TEL951-5388	FAX951-5391
ボランティア・市民活動センター	TEL951-5220	FAX951-5391
●若松区事務所（若松区社会福祉協議会）	TEL761-3422	FAX761-3660
ボランティア・市民活動センター	TEL761-2208	FAX761-3660
●八幡東区事務所（八幡東区社会福祉協議会）	TEL681-6601	FAX681-6013
ボランティア・市民活動センター	TEL662-0911	FAX662-5671
●八幡西区事務所（八幡西区社会福祉協議会）	TEL642-5035	FAX642-5077
ボランティア・市民活動センター	TEL642-0407	FAX642-5077
●戸畑区事務所（戸畑区社会福祉協議会）	TEL871-3259	FAX881-8557
ボランティア・市民活動センター	TEL881-8555	FAX881-8557

このヒント集は、令和3年6月現在の状況で作成したものです。
今後の感染症の状況次第で、対応が変わる可能性がありますので、国や県などから新しい情報が出された場合は、新しい情報に従ってください。